

< 当院で使用している生物学的製剤の一覧 >

商品名	作用部位	注射の種類	投与間隔	特徴
レミケード	TNF α	点滴	初回、2週、6週後、以後1回/4～8週間	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に生まれた生物学的製剤 ・使用経験・長期のデータが豊富 ・「キメラ抗体」ため「二次無効」がある ・効果不十分の時に増量可能 ・メソトレキセートの併用が必須
エンブレル	TNF α , β	皮下注射	1週間に1～2回	<ul style="list-style-type: none"> ・自己注射製剤 ・週1回投与のためこまめに調整ができる ・拳児希望の際にも使用可
ヒュミラ	TNF α	皮下注射	2週間に1回	<ul style="list-style-type: none"> ・自己注射製剤 ・欧米で最も使用されている生物学的製剤 ・重症例では発症早期からの使用が認可されている
シムジア	TNF α	皮下注射	2週間に1回	<ul style="list-style-type: none"> ・自己注射製剤 ・「ローディング」があるため、早い効果発現が期待できる ・拳児希望の際にも使用可 ・重症例では発症早期からの使用が認可されている
シンポニー	TNF α	皮下注射	4週間に1回	<ul style="list-style-type: none"> ・皮下注射製剤だが病院でスタッフによる注射
インフリキシマブBS	TNF α	点滴	初回、2週、6週後、以後1回/4～8週間	<ul style="list-style-type: none"> ・レミケードの「バイオシミラ」

商品名	作用部位	注射の種類	投与間隔	特徴
アクテムラ	IL-6	皮下注射 点滴	注射：2週間に1回 点滴：4週間に1回	<ul style="list-style-type: none"> 点滴製剤と注射製剤の選択が可能 made in Japan, made in Osaka
オレンシア	T細胞	皮下注射 点滴	注射：1週間に1回 点滴：初回、2週、 4週後、以後4週間に1回	<ul style="list-style-type: none"> 点滴製剤と注射製剤の選択が可能
ゼルヤンツ	JAK	内服	1回1錠を1日1～2内服	<ul style="list-style-type: none"> 唯一の内服薬 「マルチターゲット」製剤

*用語説明

- 「キメラ抗体」：マウス抗体の可変領域をヒト抗体の定常領域に連結したもののマウス由来の成分があるためこれに対してアレルギー反応を起こすことがある
- 「二次無効」：長期間使用することでレミケードに対する抗体が作られ、効果が弱くなること
- 「ローディング」：最初の4週間、通常の倍量を投与することで薬剤の血中濃度が上がりやすく早い効果発現が期待できる
- 「バイオシミラ」：先発品と同等の効果効能・安全性を確認された薬剤
ただし全く同じ構造ではない、一般的に先発品よりは安価である
- 「マルチターゲット」：作用する対象が1つではなく様々なサイトカイン（IL-6,17,RANKLなど）の産生を抑える

その他にもさまざまな治験に参加しているため、治験薬投与の経験も豊富です。